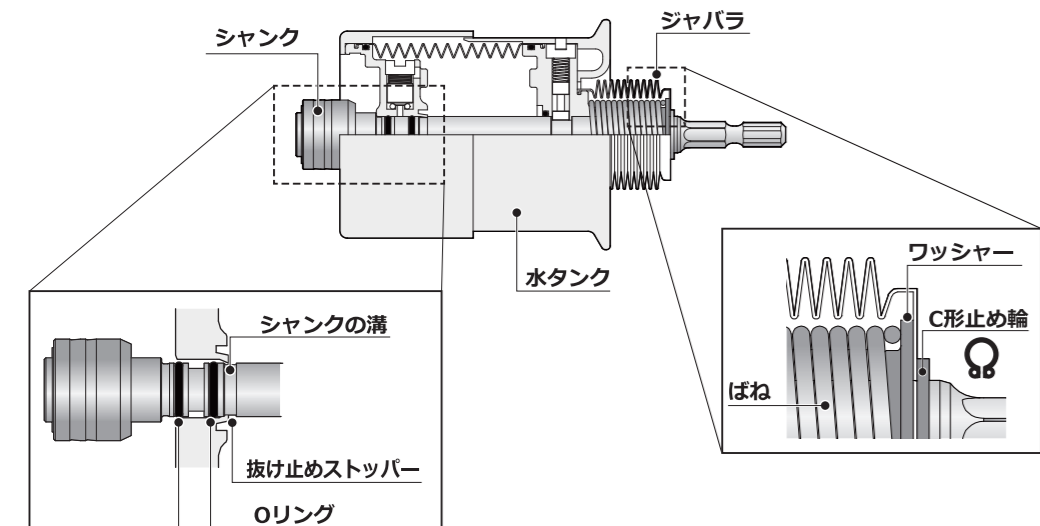


水タンクの交換方法

● 交換部品について



抜け止めストッパーがシャンクの溝にはまり水タンクが抜け落ちないようになっています。交換後、再度分解すると抜け止めストッパーが機能しなくなる場合があるため、再度の分解はできません。

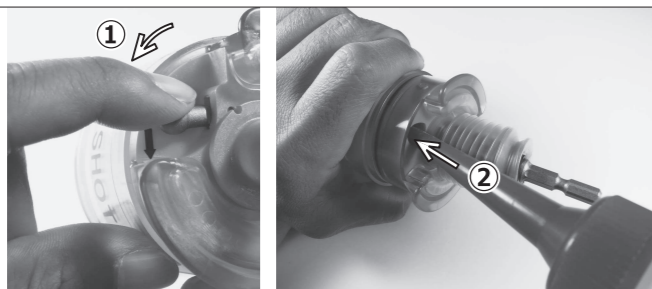
○ 交換部品品番

品名	品番	セット内容
AS取替用水タンク	ASWT	水タンク C形止め輪 Oリング(2ヶ)※
AS取替用ジャバラ	ASBL	ジャバラ ワッシャー

※Oリング(2ヶ)はシャンクに付いているものと交換してください。

● 分解方法

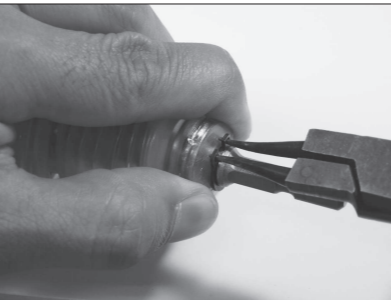
1 水タンクの解除レバーを動かし(①)、ロックを解除してください。付属の水ボトルを水タンクの注水口に差し込み(②)、空気を抜いてください。



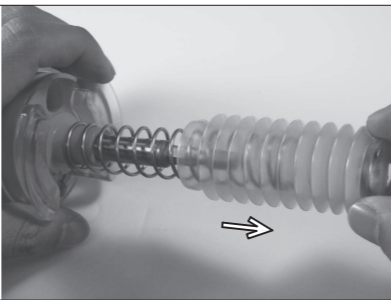
2 必ず空気が抜けた状態で、組立分解作業を行ってください。



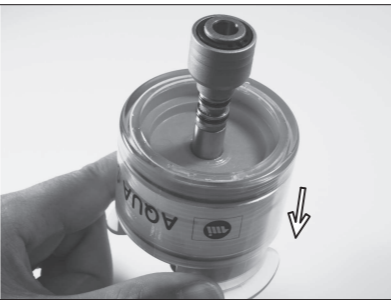
3 スナップリングプライヤ(止め輪はずし用)でシャンクのC形止め輪を外してください。ばねが飛ばないようにご注意ください。



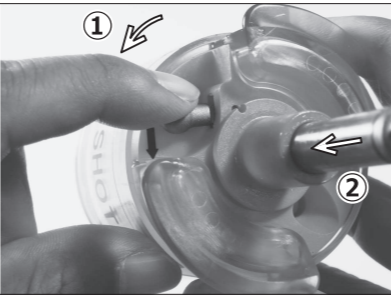
4 ジャバラ(ワッシャー付き)、ばねの順にシャンクから外してください。



5 水タンクを持ち、硬い場所(地面等)でシャンクの底を強く叩きつけ、解除レバー部まで水タンクを下げてください。

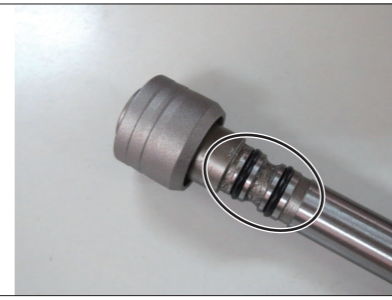


6 解除レバーのロックを解除しながら(①)、シャンクを②の方向に引き抜いて、分解完了です。

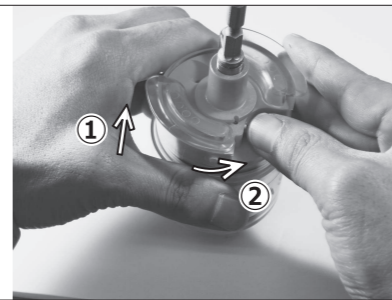


● 組立方法

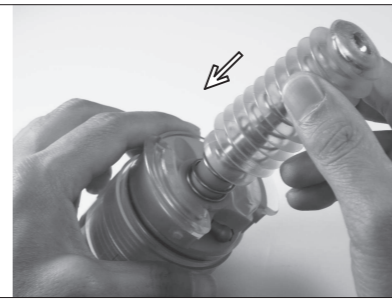
1 付属のOリング(2ヶ)をシャンクに取り付けてあるものと交換してください。



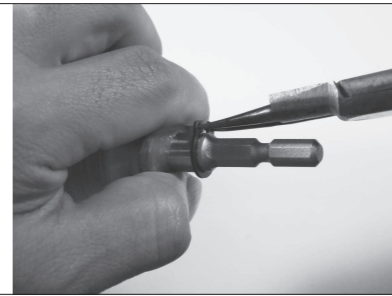
2 水タンクにシャンクを挿入し(①)、解除レバーのところまで押し込んでください。解除レバーのロックを解除しながら(②)、さらにシャンクを押し込んでください。



3 シャンクにばね、ジャバラ(ワッシャー付き)の順に通してください。



4 ばねを縮めながら、スナップリングプライヤを使用し、C形止め輪をシャンクの溝に取り付けて、組立完了です。



このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。お読みになった後は大切に保管し、必要なときに読み返してください。

安全上のご注意

必ずお守りください

けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる『安全上のご注意』を必ず守ってください

- ⚠ **警告** 誤った取り扱いをしたときに、使用者または第三者が死亡や重傷を負うおそれがある内容。
- ⚠ **注意** 誤った取り扱いをしたときに、使用者または第三者が軽傷を負う危険や物的損害の発生するおそれがある内容。

⚠ 警告

- ① 作業場はいつもきれいに保ってください。また、雨中や暗所、可燃性の液体やガスのある場所で使用しないでください。感電やケガ、火災や爆発の原因となります。
- ② 無理な姿勢で作業しないでください。常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。高所作業時には安全帯着用等の安全衛生規則に則った作業をしてください。
- ③ 作業時の服装には十分注意し、袖やズボンのすそ等が巻き込まれないようにしてください。
- ④ 目に切粉が入らないよう、保護メガネを必ず着用してください。また、粉じんの多い作業では、粉じんマスクを併用し、騒音の大きい作業では、耳栓やイヤーマフ等防音保護具を着用してください。
- ⑤ 使用前に製品の点検を十分に行い、損傷があるときは絶対に使用しないでください。
- ⑥ 指定された用途以外に使用しないでください。また、改造や分解は絶対にしないでください。
- ⑦ 作業中は振り回されないよう、電動工具を確実に保持してください。
- ⑧ 高所作業では切削片の飛び出し、落下の危険がありますので、十分注意してください。
- ⑨ カッター着脱時は、保護手袋を着用しけがしないようご注意ください。
- ⑩ 水を使用しますので必ず感電防止対策をしてください。漏電遮断機が設置された電源でご使用ください。作業中はゴム手袋・ゴム長靴を着用してください。
- ⑪ 二重絶縁タイプの電動工具のご使用をお薦めします。それ以外の電動工具は、必ずアースを取り付けてください。詳しくはお使いになる電動工具の「取扱説明書」をお読みください。
- ⑫ ご使用になる電動工具の取扱説明書をよく理解された上で、ご使用ください。

⚠ 注意

- ① 使用する製品・サイズにあった電動工具を使用してください。
- ② 本製品は湿式でご使用ください。乾式でのご使用は、カッターのダイヤモンドチップへ悪影響を及ぼし、シャンクやボディも傷めます。
- ③ 電気ドリルで使用する場合は、回転モード以外で使用しないでください。ハンマー・振動モードでの使用はカッターの破損原因になります。
- ④ 正回転以外で使用しないでください。逆回転での使用は、カッターが外れやすくなります。
- ⑤ 穴あけ途中は回転を止めないでください。刃先が噛み込み、抜けなくなる場合があります。回転を止める場合は、カッターを被削材から引き抜いた後で回転を止めてください。ただし、5mm程度の穴深さであれば、カッターの回転を止めてから引き抜いても問題ありません。
- ⑥ 1穴毎にカッター・ボディ内の切削片、切粉を取り除いてから作業してください。
- ⑦ カッターの切れ味が落ちた時は目立てを行ってください。目立て方法は、裏面をご覧ください。
- ⑧ ご使用後は水分を取り除き、油などを塗って錆止め処理を行ってください。
- ⑨ 水タンクは樹脂製のため、車内など暑い場所に放置すると劣化することがあります。保管場所にご注意ください。



〒673-0443 兵庫県三木市別所町巴19番地

URL <https://www.miyanaga.co.jp>

受注センター

受付窓 〇 ☎ 0120-81-3875

商品お問い合わせ窓 〇 ☎ 0120-3875-14

F A X ☎ 0120-3875-17

4955440-5

本製品について



●用途(被削材)

- ◎適合材：磁器タイル・タイル、石材、瓦
- ◎穿孔可能材：大理石、人造大理石、陶管、レンガ

●仕様

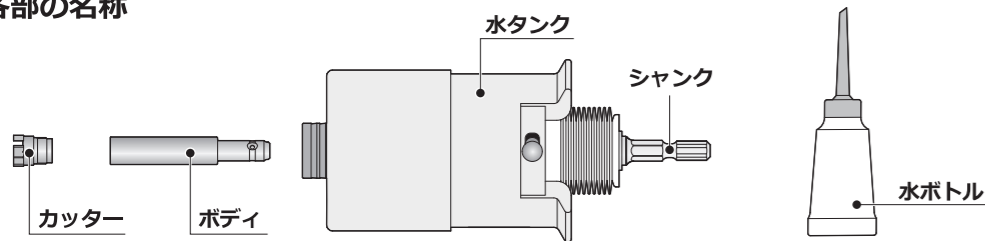
- 刃先径：4～10.5mm
- 有効長：35mm
- シャンク：6.35mm六角軸

●使用条件

- <使用電動工具の条件>
- 1.回転速度1000～3000min⁻¹
 - 2.電圧14.4V以上

- 注**
- ・本製品は、電動工具を回転させると、刃先から自動的に水を供給する機構になっています。上記の回転速度の範囲以外では、この機構が作動せず、水が供給されないため、ご使用になれません。
 - ・電気ドリルで使用する場合は、二重絶縁構造の電動工具を使用してください。二重絶縁構造でない電動工具の場合は、漏電しゃ断器を設置し、さらにアース(接地)してください。
 - ・作業中は、ゴム手袋・ゴム長靴を着用して、感電に注意してください。
 - ・振動モード・打撃モードでは使用しないでください。
 - ・インパクト電動工具で使用される場合は、インパクトが出来るだけ作動しないよう、押えすぎに注意してください。常にインパクトが掛かっている状態では、切れていない状態であり、目つぶれやカッターの破損原因になります。

●各部の名称



使用方法

●水タンクへの注水方法

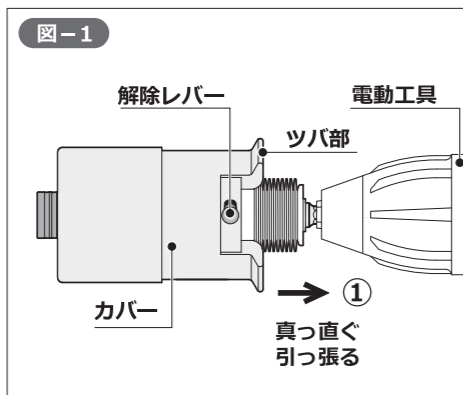
きれいな水道水を使用してください。水タンク内に異物(ゴミや砂)が混入すると水が出なくなります。

- 1 電動工具にシャンクを取り付けてください。ツバ部を持ち、カバーを電動工具側(矢印方向①)に引っ張ってください(図-1)。

注 ツバ部は真っ直ぐ引っ張ってください。ねじりながら、引っ張ると破損します。

- 2 「カチッ」と音がして解除レバーが起き上がりカバーがロックされます。

注 手を離しても、カバーが戻らないことを確認してください。



- 3 水タンクの注水口を上側に向けて、水ボトルを差し込み、水タンクに注水してください(図-2)。

- 4 解除レバーを動かして(矢印方向②)、カバーのロックを解除してください(図-2)。

注 必ずロックを解除し、穴あけを行ってください。解除されていないと水が供給されないため、刃先の焼けや切り粉つまりの原因になります。

●取り付け方法

- 1 電動工具にシャンクを取り付けてください(図-1)。

- 2 ボディにカッターをねじ込んでください(図-3)。

- 3 スリーブを刃先側(矢印方向③)に引っ張りながらボディをシャンクに挿入してください。(図-3)奥まで挿入し、スリーブを引っ張っている手を離してください。アクアショット専用のボディとカッターしか取り付けられません。

注 ボディとシャンクの接触部の切粉やゴミはきれいに除去してください。

○取り外し
ボディをシャンクから取り外すときは、スリーブを刃先側(矢印方向③)に引っ張った状態で、ボディを引き抜いてください。

- 4 ボディをシャンクに押し込んだ状態で、左右どちらかに回転(矢印方向④)させてください(図-4)。

- 5 シャンク内部の鋼球とボディの丸型凹部の位置が合うと、スリーブが元の位置に戻り、ボディがロックされます。

注 ボディを軽く引っ張って、抜けないことを確認してください。

- 6 穴あけを行ってください(位置決め方法欄参照)。

注

- ・穿孔中(位置決め時を含め)は水タンクを手で持たないでください。
- ・穿孔中は、常に刃先から水が出ていることを確認してください。

図-2 水タンクをシャンク側から見た図

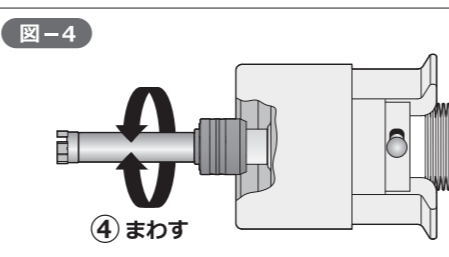
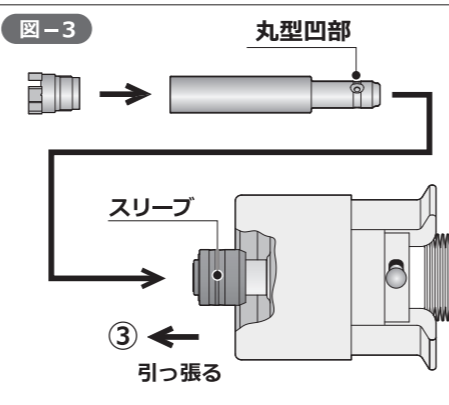
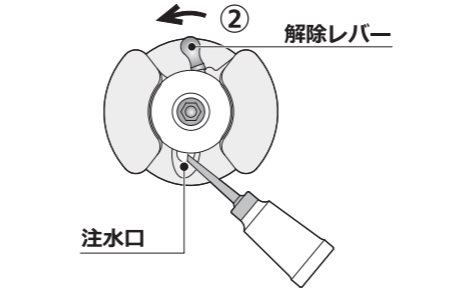
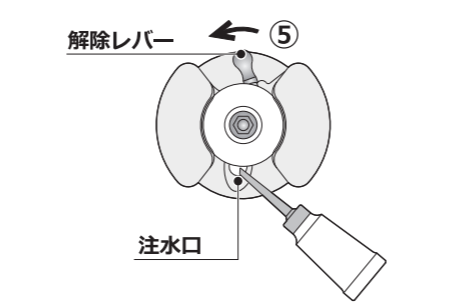


図-5 水タンクをシャンク側から見た図



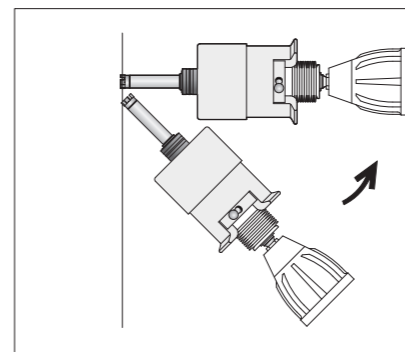
- 7 作業終了後は、製品に付着している水分を拭き取り錆び止め処理を行った後保管してください。

- ①水タンク内に残っている水をすべて排出してください。カバーのロックを解除し(矢印方向⑤)、シャンクの注水口を下に向け、そこに水ボトルを差し込み、隙間から水を排出してください(図-5)。

- ②カッターとボディは、シャンクから取り外した状態で保管してください。
- ③カッターとボディに残った切削片は取り除いてください。

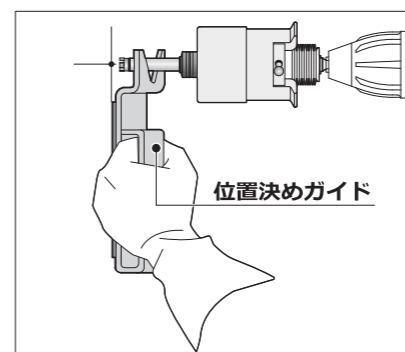
●穴あけ方法

1. 電動工具を穴あけ対象物に対して大きく傾けてください。穴あけ位置の近くで刃先を保持したまま、電動工具のスイッチを入れてください。
 2. 刃先を穴あけ対象物に軽く当ててください。
 3. 2～3mm切り込んだら、電動工具を徐々に穴あけ対象物に対して垂直になるように動かしてください。
 4. 作業終了後は、電動工具を回転させたまま、まっすぐに引き抜いてください。
- ※小径のカッターの場合は、破損する恐れがありますので下記の位置決めガイド(別売)を使用した方法で穴あけされることをおすすめします。



小径の場合(特に刃先径4～5mm)

1. 位置決めガイドを穴あけ位置に当ててください。
2. 位置決めガイドのV部分に刃先を合わせてください。
3. 位置がずれないように、位置決めガイドを強く押さえつけた状態で、カッターをV部分に押しつけ、電動工具の回転を始めてください。5mm程度切り込んだら、電動工具の回転を止め、カッターを被削材から外してください。
4. 位置決めガイドを被削材から外し、上記で切り込んだ穴をガイドに穴あけを続けてください。



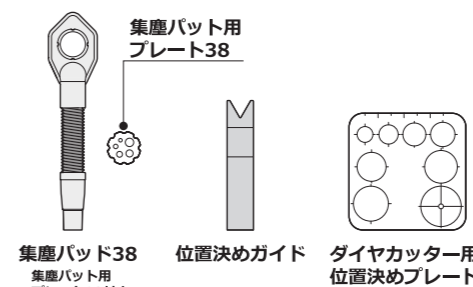
注 アクアショットは、タイル・石材専用に開発されたビットです。下地のコンクリート、モルタルに穴あけすると切粉が詰まる恐れがあります。タイル・石材部分が貫通したら、後は振動ドリル等に持ち替え作業を行ってください。

●別売オプション品

- 集塵パッド38(品番：SJP038)
集塵パット用プレート38(品番：SJP038P)
用途：水漏軽減用

- 位置決めガイド(品番：PG)
用途：位置決め補助用

- ダイヤカッター用位置決めプレート(品番：PP)
用途：位置決め補助用



- 水ボトル(品番：ASWB)
用途：給水用

- 切粉押し棒(品番：DMPE1)
用途：切粉除去用

- ダイヤモンドレッシングプレート(品番：DDP)
用途：カッターの目立て用

詳しくは、各々の取扱説明書をご覧ください。

メンテナンス

●水が出ない場合の対処

- ・解除レバーが解除されているか確認してください。

- ・ボディに切削片が詰まっていないか確認してください。詰まっている場合は、切粉押し出し棒(別売)を使用して除去してください(図-6)。

- ・ボディを外した状態でシャンクから水が出るか確認してください。出ない場合は、ボディをシャンクに取り付けた状態で、水ボトルを注水口に差し、エアの通り道を確保してから、エアースプレー等でボディ側からエアーを送り込み、掃除してください(図-7)。

- ・エアーを送り込んだ後は、水タンク内に残っているゴミや砂を洗い流すため、きれいな水で水タンク内を数回洗浄してください。

●カッターの交換方法

カッターを交換するときは、プライヤーまたはペンチでカッターからボディを回して取り外してください。

●ドレッシング(目立て)

穴あけ中、カッターのダイヤモンドチップのバランスが崩れたり、急に切れ味が落ちた場合、または何らかの要因でダイヤモンドチップが変色する等、異常が生じた場合は、通常の穴あけ手順(乾式で良い)でブロックやG C砥石、または別売のダイヤモンドレッシングプレートに数回穴あけし、目立てを行ってください。

